

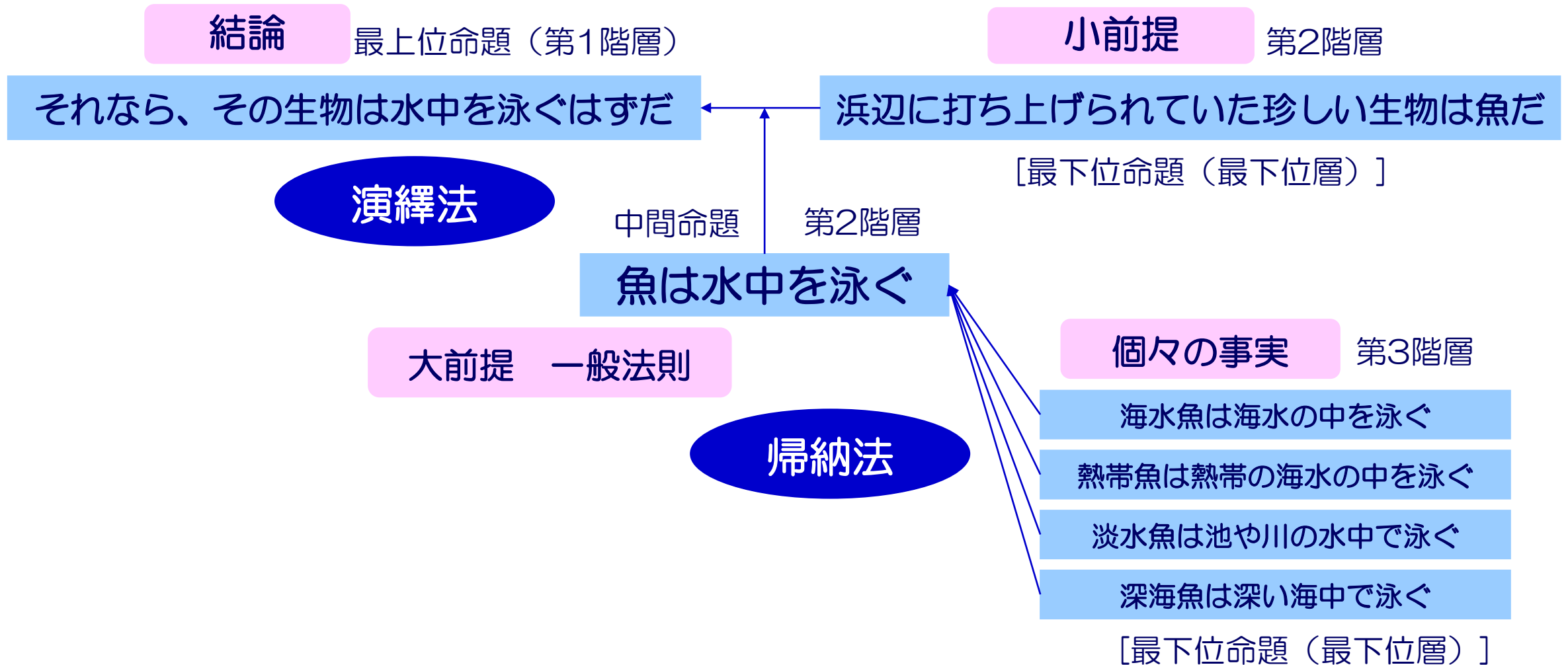
論理学から論理思考へ

- 演繹法と帰納法の組み合わせ構成
- ピラミッドを形成する論理構造
- 有効な論理を構成するための3つの原則
- 適切な命題とは
- 命題の作成
- 目的達成志向とは
- 目的達成志向による命題作成

「論理学から論理思考へ」について、より深く学習するには、論理思考講座「第1章 ロジカルシンキングの基本を学ぼう 1.3 論理思考への道を開く (<https://www.ltkensyu.com/logicalthinking/1-1/1-4#link13>)」をご参照ください。

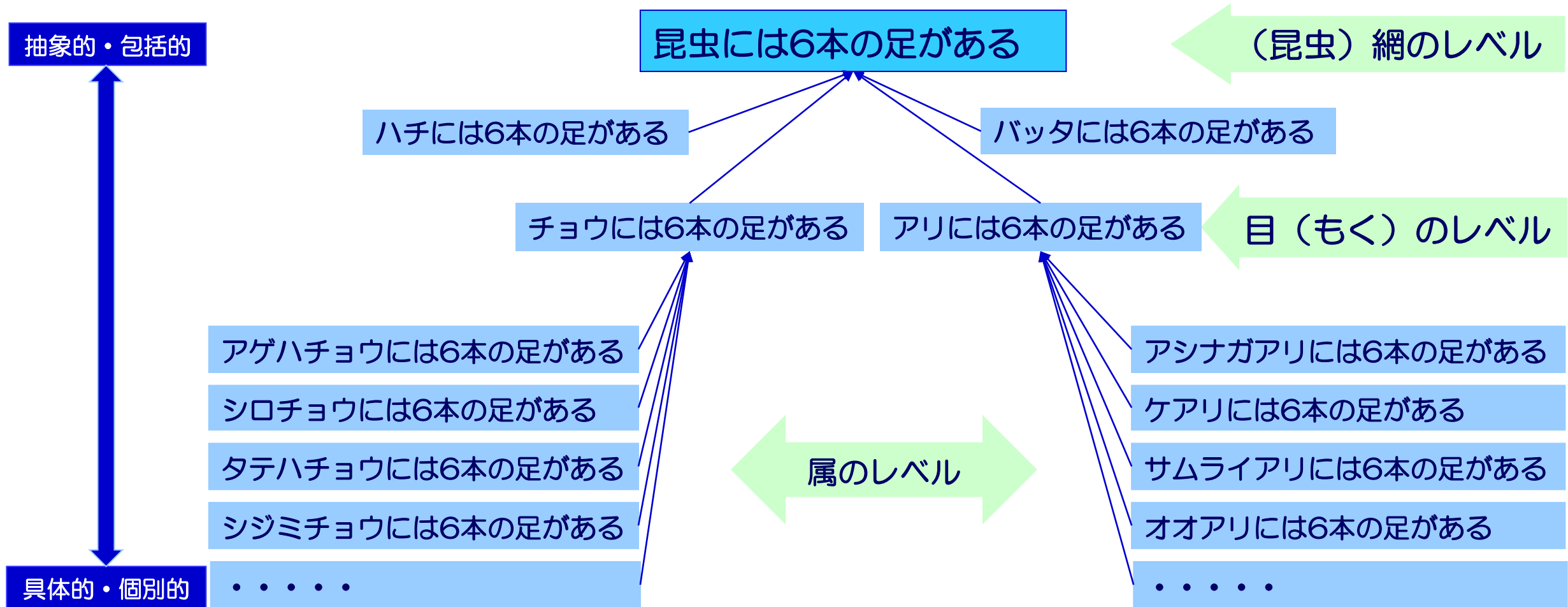
演繹法と帰納法の組み合わせ構成

すべての論理は演繹法と帰納法の組合せで構成され、妥当な上位命題は必要十分な下位命題によって支えられている



ピラミッドを形成する論理構造

論理はピラミッドを形成し、命題は下位に行くほど具体的・個別的に、上位に行くほど抽象的・包括的となる



【参考】ヒト：界（動物）⇒門（脊索動物門）⇒綱（哺乳綱）⇒目（サル目）⇒科（ヒト科）⇒属（ヒト属）⇒種（サピエンス）

有効な論理を構成するための3つの原則

すべての論理は帰納法と演繹法の組合せで構成されており、ピラミッド構造となる。それを有効な論理とするためには、3つの原則に従う必要がある。

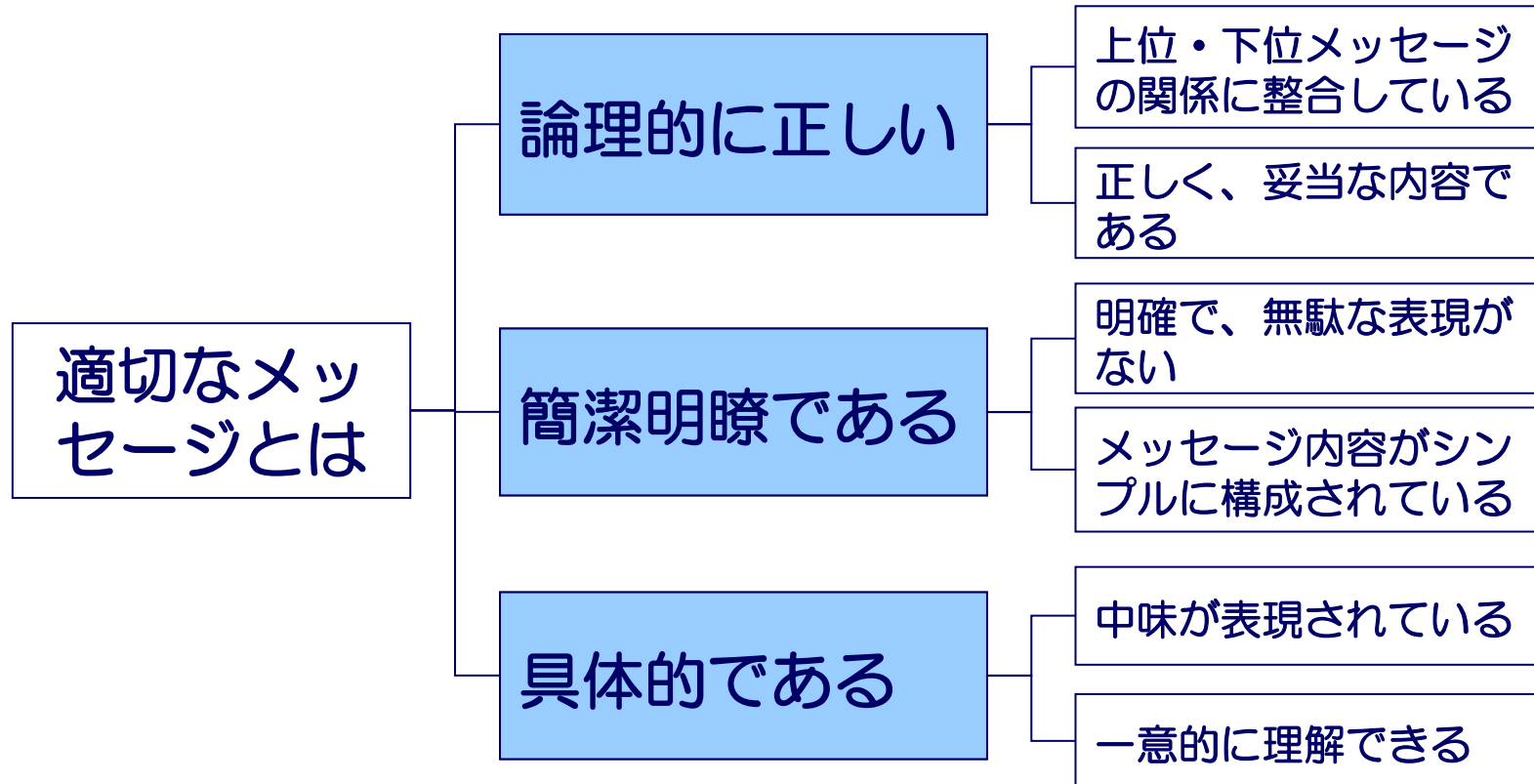
1. 上位命題を支える下位命題は必要にして十分である
2. 上位と下位の間にある中間命題が正しい
 - たとえ、例外の存在・隠れた前提の存在があっても、それらを問題とする必要がない＝命題が正しいと言える状況で使われていること
3. 最下位命題は事実※¹であるか、または誰もが正しいと認めることができる内容である

※¹事実と推定・解釈の相違に注意しよう。

厳密性を欠く言葉の使用に注意しよう。

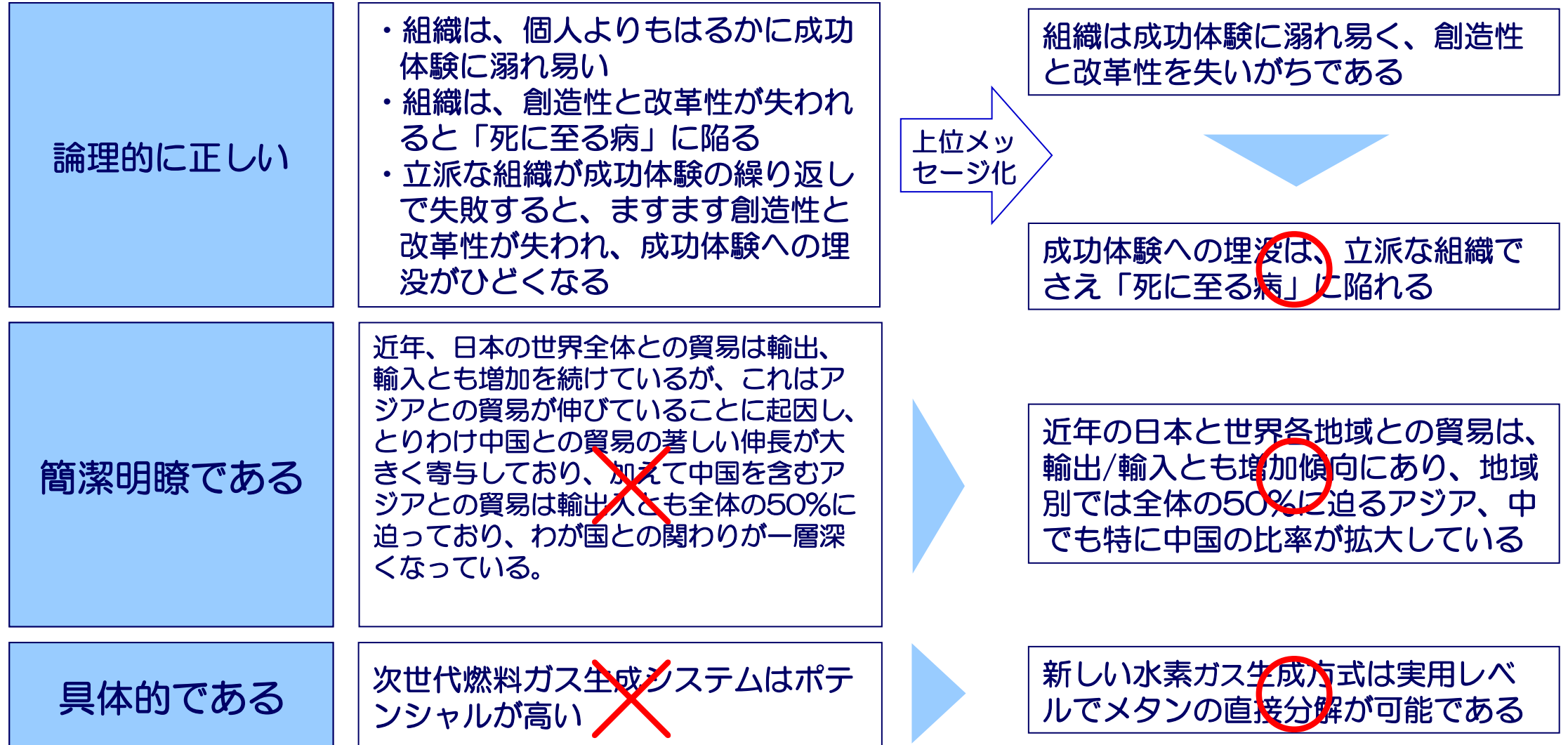
適切な命題とは

適切なメッセージは論理的に正しく、簡潔明瞭で、具体的である



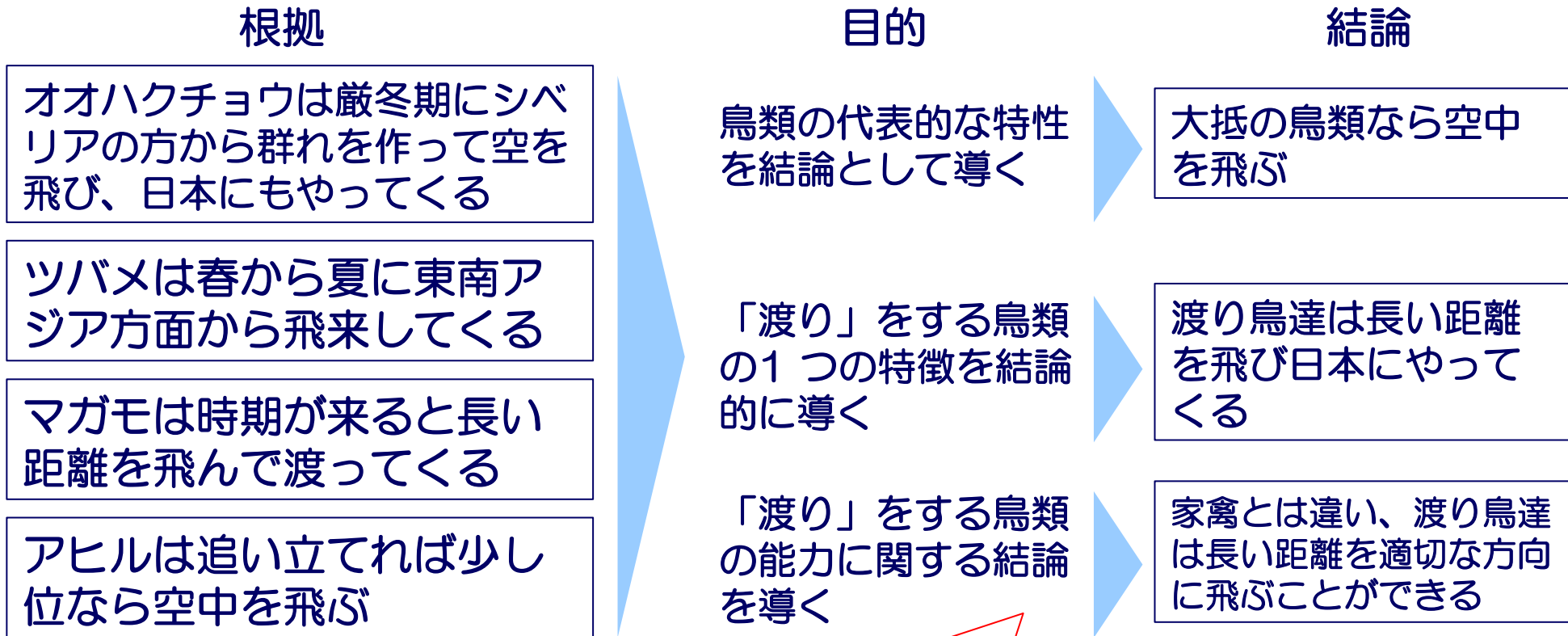
命題の作成

論理的に正しく、簡潔明瞭で、内容を伝える具体的な命題を作成する



目的達成志向とは

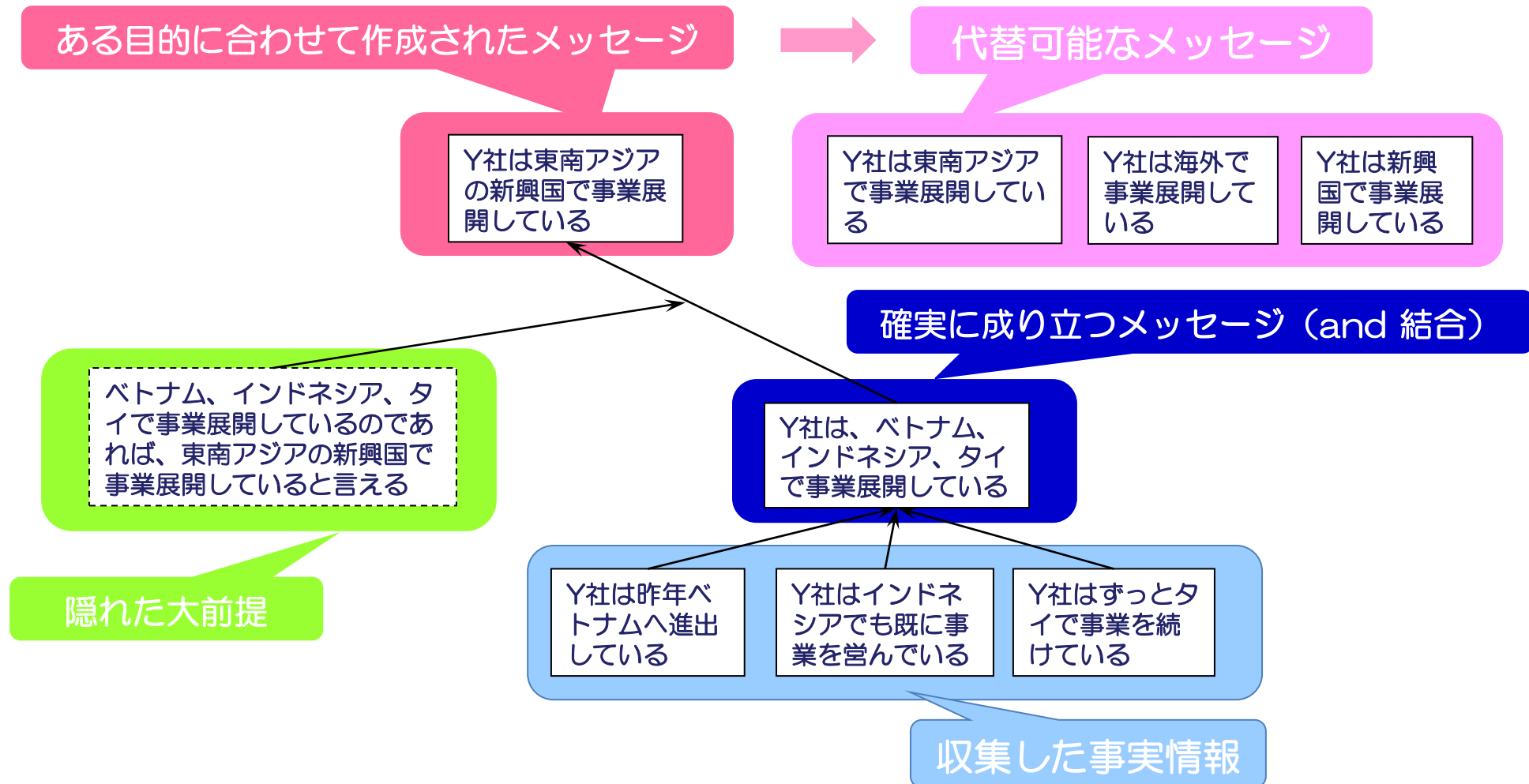
論理思考を活用する際には必ず何らかの目的があり、背景のある目的を意識し、状況に応じて目的を達成すべく柔軟に取り組むことを言う



「目的達成志向」を持たない論理思考は船頭の居ない舟を漕いでいるようなものだ

目的達成志向による命題作成

論理思考における命題には許容範囲があり、命題は目的達成志向で状況に適応するように明確に記述する



小演習：下記の会話を読み、Bさんが主張している論理の倫理構成図を描きなさい

Aさん「最近はインフルエンザにも良く効く、AGなんとかという新薬が使えるようになって安心だね」

Bさん「うん。ただ、楽観的に考えている人が多いけど、その新薬AGDPだって、いずれは、薬剤耐性を持つ病原性微生物の出現により、限界を迎えるはずだよ。」

Aさん「新薬AGDPにも薬剤耐性微生物が出現するって？どうして？」

Bさん「確かに、新薬AGDPはインフルエンザ治療と予防に有用な屈指の抗病原性微生物薬剤だけど、抗病原性微生物薬剤には、いずれ、その薬剤に耐性を持つ病原性微生物が出現するものなんだよ。」

Aさん「抗病原性微生物薬の宿命みたいに聞こえるけど、そうなの？」

Bさん「そうさ、国をあげて大量備蓄した、例の抗インフルエンザウィルス薬タミフルにも、耐性インフルエンザウィルスが出現したんだ。他にも抗生物質メチシリンには、耐性黄色ブドウ球菌が出現したことで知られているし、古くは抗生物質ペニシリンには耐性肺炎球菌が出現したことで有名なだよ。」

Aさん「新薬AGDPとかも同じようなものなのかなあ。恐ろしい新型インフルエンザウィルスが流行したら困るよね。」

Bさん「新薬AGDPは何と新型インフルエンザウィルスに対しても抗ウィルス薬として直接作用するというから頼もしいね。ウィルスの増殖に欠かせない特定酵素の働きを阻害する抗ウィルス作用があるんだよ。しかも、ウィルスに感染した直後に顕著な威力を発揮するため、感染の恐れがある場合に予防的にも使われている。」